

# COURSE MAP



## ようこそ「アクアライナー」へ

アクアライナーは日常生活から少し距離を置いて、いつもとは違う時間を感じられるクルーズです。船内は天井がガラス張りになっていて、空の青さや日差しがぬくもりを感じることができます。また横に目をやると、水面が近いことに驚く方もいるかもしれません。この船だから楽しめる「水鳥のうな目線」で水辺の名所・旧跡をゆっくりとお楽しみください。水辺から手を振る方、お散歩や食事をしている方、芝生を走る子供たちなど、水辺で暮らす人たちの日常を垣間見ることができるのも都心を走る観光船の魅力の一つです。ぜひアクアライナーの船内から水都大阪の街並みをご堪能ください。

### 1 大阪城

みなさん、ご存じの大阪のシンボル「大阪城」。新鳴野橋から眺める大阪城は、背景にビルが入らず、往時の人々が見た大阪城と同じ風景を眺められるポイントです。



### 2 京橋

最初にこの橋をかけたのは豊臣秀吉で、橋の名前は京都へ通じる橋という意味で付けられたそうです。

### 3 大川

京阪電車の鉄橋を超えると、大川に入ります。別名、旧淀川と呼ばれ、淀川の付け替え工事が行われるまでは、ここが本流でした。川沿いには桜の木が植えられており、春はたいへん美しい景色を眺めることができます。

### 4 天満橋

かつてとても星が綺麗に見えたことから、天満の地・天満橋と呼ばれるようになったそうです。渋滞緩和のために2階建て構造になっている少し珍しい形の橋です。

### 5 八軒家浜・川の駅はちけんや

八軒の船宿があったことからその名が付けられました。江戸時代には、京都・伏見と舟運でつながっており、たいへん賑わいのある場所でした。現在ではさまざまな観光船が発着し、ノルディック・ウォークやヨガ、レストランなど水辺の賑わいスポットになっています。

### 6 難波橋

1915年に現在の橋が架けられた際に、橋の四隅のライオンの彫刻が置かれたことから、別名「ライオン橋」と呼ばれています。船からはライオンのお尻が見えています。

### 7 大阪市中央公会堂

1918年に建てられた赤いレンガ造りの中島のシンボルともいえる建物です。館内にはホールやレストラン、ショップなどがあります。ガガーリンやヘレンケラーもここで講演したことがあるそうです。

### 8 造幣局

桜の通り抜けで有名な造幣局では、1円から500円までの硬貨の大半を作っています。博物館では古代の中国貨幣から現在の貨幣など、さまざまな貨幣を展示しています。

### 9 桜宮橋

大阪人の間では「銀橋」の愛称で親しまれる橋です。上流側と下流側に似たデザインの橋が2つ架けられているのもこの橋の特徴です。上流側の新しい桜宮橋は、世界的建築家の安藤忠雄氏が設計されました。